

2005年3月25日  
株式会社日立製作所

## 富士通日立プラズマディスプレイの株式とプラズマ特許の 取得に関する契約締結について

株式会社日立製作所(社長:庄山悦彦/以下、日立/証券コード:6501)と、富士通株式会社(社長:黒川博昭/以下、富士通/証券コード:6702)は、両社の合併会社である富士通日立プラズマディスプレイ株式会社(社長:森本洋一/以下、FHP)に対して、両社で財務的支援を行うこと、また、日立が富士通の所有するFHPの株式の一部と、プラズマディスプレイパネル(以下、PDP)技術に係る特許を取得することについて、2005年2月2日に基本合意しておりましたが、本日、正式に契約を締結しました。

契約の主な内容は、以下の通りです。

1. 日立と富士通は増資による財務的支援を行う。
2. 日立は富士通の所有するFHPの株式の30.1%を取得し、取得後の所有比率は80.1%となる。
3. 日立は富士通の所有するPDPモジュール特許を取得する。

株式取得後、FHPは日立の子会社となります。また、代表者は井本義之(現日立製作所ユビキタスプラットフォームグループCOO)となります。なお、FHPの社名については、株式取得後も変更はありません。

今後、日立とFHPは、経営戦略の一元化をさらに強化することによって、世界をリードするPDPとプラズマテレビを提供し、ユビキタス社会を豊かにする製品市場の拡大と事業の発展に注力していきます。

以上

---

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---